

リリースノート 顔跡／KAOATO Ver3.0 R19

No	機能追加	内容	機能名
1	基本情報への正式対応	各機能が登録者基本情報に正式に対応しました。	登録者発報監視機能(WA)、他
2	登録者情報画面の機能整理	登録者情報画面の顔検索:ベストショット機能が無効となりました。	検索機能(SV)
3	登録者基本情報管理画面の追加	登録者基本情報を一覧で管理する登録者基本情報管理画面(SVI)が新規追加されました。	検索機能(SV)
4	参照先データベース切替機能の追加	ログ参照画面でログ参照先データベースの切り替えが可能になりました。	検索機能(SV)
5	顔検出パラメータ設定機能の追加	各機能の操作中に顔検出パラメータを個別設定し、リアルタイムに反映することが可能になりました。	検索機能(SV)
6	監視制御の改善	監視制御画面の自動登録と登録者グループ指定を両方に有効した状態で、監視を開始できないように制御を改善しました。	監視機能(TK)
7	未登録者発報の改善	未登録者発報の判定処理を改善し、判定結果の精度が向上しました。	監視機能(TK)
8	顔画像の顔品質判定による記録制御	ログとして記録する顔画像の顔品質を判定し、顔品質が良い顔画像を記録するように制御を改善しました。	監視機能(TK)
9	監視画面の表示項目の改善	監視画面の表示項目を整理・改善し、基本情報、顔諸元などの項目を表示することが可能になりました。	監視機能(TK)
10	監視制御画面の障害対応	連続実行待機時間を指定しても、実行の待機が行われない現象を修正しました。	監視機能(TK)
11	監視画面の障害対応	未登録者発報モードで動作している場合、発報色に設定と異なる色が表示されることがある現象を修正しました。	監視機能(TK)
12	誤検出除外用登録者の障害対応	カメラ毎の誤検出除外用登録者として設定すると、他のカメラで発報対象となる現象を修正しました。	監視機能(TK)
13	オプション画面の入力操作改善	監視画像分割表示機能(TV)のオプション画面での画像取得先設定が少ない入力操作で利用可能となりました。	監視画像分割表示機能(TV)
14	ログインID、パスワードの入力改善	メインメニューの起動時にログイン画面が表示されるようになりました。 また、各アプリケーションはメインメニューから起動する場合、ログインID、パスワードの入力が不要になりました。	メインメニュー
15	メインメニューの障害対応	メインメニューの各アプリの起動引数の設定によっては、動作不正が発生することがある現象を修正しました。	メインメニュー
16	発報監視機能の追加	ログ情報をリアルタイムに表示する発報監視機能(RV)が新規追加されました。	発報監視機能(RV)
17	設定パラメータの項目整理	管理機能(AD)の設定パラメータが以下のように変更されました。 ・「(共通)データベース」のOracle関連項目を削除 ・「(共通)KAOATO:タイムアウト」を削除 ・「(SV)登録者情報表示」を削除 ・「(TK)顔検出:最大目間距離(顔特徴生成用)」を「(TK)顔検出:最大目間距離」に 「(TK)顔検出:最小目間距離(顔特徴生成用)」を「(TK)顔検出:最小目間距離」に統合 ・「(TK)監視:監視間隔」を削除 ・「(TK)監視:画像取得」を削除 ・「(TK)監視:画像取得:カメラ顔検出タイムアウト」を削除 ・「(TK)監視:ログ」を「(TK)監視:ログ:記録:(登録者高レベル、登録者低レベル、未登録者、不明者)」に変更	管理機能(AD)
18	インポート／エクスポートの障害対応	複数店舗で同日時にエクスポートされたファイルが存在する場合、インポートされない場合がある現象を修正しました。	インポート／エクスポート機能(SV__Move)
19	TKログ監視機能の分離	監視制御機能(TKC)からTKログ監視の機能が分離し、TKログ監視機能(TKL)が新規追加されました。	TKログ監視機能(TKL)